

# 地域みんなで盛り上げた 淡路島中央スマートインター開通式



2月17日(土)、淡路島中央スマートインターが開通し、当法人としても中川原ふれあいセンターでフリーマーケットに協力するなど共に祝いあいました。

## ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会

洲本市中川原町中川原28番地1  
TEL:0799-25-8550  
FAX:0799-25-8551  
ホームページ

<http://hyoufuku.main.jp/fukurou/>

この開通を機に地元を挙げて祝おうと途絶えて久しいだんじり、獅子舞を復活させようと呼びかけて祭礼団を招集、日夜練習に励み、見事に演じた皆さんの拍手に包まれました。

この取り組みに年配の方は「何年かぶりに見ました。やっぱり地元はええなあと愛着の気持ちが改めて湧き上がった」と感慨深げでした。



▼復活しただんじり・獅子舞の披露

## 聴覚障害者福祉 近畿合同就職説明会

福祉人材確保・育成のため、京都・大阪・兵庫の3社会福祉法人が初めての取り組みとして「近畿合同就職説明会」を開催します。福祉に関心のある人、手話に興味のある人、仕事を探している人、お気軽にご参加ください。

### 若手職員によるトーク

職場の雰囲気を知りやすくお伝えします

### ミニ手話講座

挨拶など初心者でも大丈夫！興味があわきますよ

### 面談ブース

施設の仕事の内容や労働条件などについてわかりやすくお答えします

#### ★大阪会場★

2018年4月15日(日)  
13:00~16:00  
大阪府谷町福祉センター2階  
第1、2会議室

#### ★兵庫会場★

2018年4月21日(土)  
13:00~16:00  
神戸市勤労会館  
405、406号

#### ★京都会場★

2018年4月22日(日)  
13:00~16:00  
京都テルサ東館2階  
中会議室

予約不要です。  
お気軽にご参加ください

一緒に働きませんか?



## 淡路ふくろうの郷施設見学会

日時:平成30年4月28日(土)  
午前10時  
待合場所:JR神戸駅改札出口

神戸市長田区施設建設予定地 → 中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター(昼食 窯焼きピザと淡路玉ねぎのサラダなど) → 淡路ふくろうの郷 → 神戸へ

## 職員採用試験

5月20日(日)

午前10:00~

場所:淡路ふくろうの郷

# 梶内嘉藏様 百寿の御祝い



家族様と  
人生を振り返る

2月16日淡路ふくろうの郷に入居されている梶内嘉藏様が誕生日を迎えられ、満百歳になられました。2月18日、ご家族がふくろうの郷に集まり、百歳のお祝いの会をされました。



嘉藏様は15歳のころから80歳までだんじりを作り続けられ、平成15年には「ふるさと文化賞」を受賞されるなど、淡路の伝統文化に貢献された方で

ご家族様からは「今日こうして集まってお祝いできることが奇跡」と、百歳を迎えられた嘉藏様を喜んでおられました。

最近は一日の大半を寝ておられることの多い嘉藏様ですが、ご家族からのあたたかいお祝いの言葉や、和やかな雰囲気からか、わずかな時間でしたが目を覚まされる時もありました。

百年という梶内嘉藏様の人生の記念の時に、ふくろうの郷で携われることができ、嬉しく思います。

これからも嘉藏様に一日一日ふくろうの郷で心地よく過ごして頂きますように支援してまいります。

(生活援助員  
神代雅司)

▲家族様と和やかなひと時を過ごされました。

## ふくろう物語 池上 アヤ子さん

### 力強く生き抜いた人生

池上さんは大正8月27日生まれで現在94歳です。大分県で生まれ、13歳の時に大分聾学校小学部に入学されました。入学が遅かった為、卒業したのは19歳の時です。

20歳の時に太平洋戦争が始まり池上さんは働きに出ることなく家業の畑仕事の手伝いや、母親から料理、和裁、畑仕事を習い過ごされたそうです。当時、大分でも空襲があり、苦勞した経験もされています。

37歳の時に難聴のご主人と知り合い翌年に結婚、尼崎市内へ転居しました。結婚後は旅行を楽しまれたそうです。二人の子どもに恵まれましたが池上さんが44歳の頃、火事で子どもを亡くされてしまいました。ふくろうに入居する

際にはお子様の仏壇も持ってこれられ、今でも大切にされています。

悲しみを抱えながらも生活のため、鉄工所で油にまみれながらプレスの仕事に励まれ、仕事仲間「仕事が出来ると褒められたとのことです。また14年間勤務したこと

で、会社から褒美にもらった時計は、長年池上さんの誇りともなっていました。

御主人を亡くされてからは一人暮らしをされていましたが80歳の頃、友人に誘われ「たつのこ作業所」に通所することになりました。作業所では

仲間と手話で会話することが楽しみだったそうです。しかし次第に一人暮らしも難しくなり、たつのこ作業所の仲間である北風さんがふくろうの郷に入居していたこともあり、入居することとなりました。

### これからも笑顔で 過ごせるように

ふくろうでは北風さんだけではなく、他のろう者の入居者ともすぐに仲良くなられ、毎日リビングで一緒にテレビを観ながらお話をされたり、朝の会やふくろう大学に参加され生活を楽しんでおられます。「ふくろうでの暮らしはどうですか」と尋ねると、満面の笑顔でうなずいてくれました。

池上さんの余生を、笑顔が絶えない日々を過ごして頂けるように、支援を続けたいと思います。

(生活援助員 神代 雅司)



▲北風さんと御馳走を食べながら昔話に花を咲かせる池上さん(左)

### 独居老人お食事会

中川原地区民生委員

児童委員協議会主催



2月21日(水)中川原地区民生委員協議会主催の一人暮らしお年寄りとの食事会をふくろうの郷でおこないました。

今年は風邪の流行もあって当日欠席される方もおられ、地域の方9名と民生委員の方5名計14名の参加です。

初めに、自己紹介から始まり、調理職員が心を込めて作った昼食のお弁当を食べながら歓談していただきました。みなさん久しぶりに顔を合わされることもあり、「跡継ぎがいなくて困っているんや。おまはんとは？」とか、入居者の満州に開拓団に行っていた等の話を聞き、「実はわしも中国の北支で戦争体験があるんや。寒いところでああ、苦

### 毎回、楽しみに参加してるんや〜

「独居老人お食事会」などの貴重な体験談をお話しいただきました。午後からの雛人形作りでは「ここどうしよう。髪の毛はどんな形がよいのか」等、一緒に席の方々とお話ししながら熱心に作っておられました。また帰り際には「おいしかったよ〜」と口々に言ってくれました。

独居老人お食事会には毎年楽しみに参加されておられる方もおられます。今後もこうした交流の機会を続けていきたいと思えます。(介護主任 加野明広)



▲ひとりひとりの自己紹介に耳を傾ける参加者

### 恒例の節分行事

#### 個性あふれる 巻き寿司作り



暦の上2月4日は立春で春の始まりです。厳しい寒さはこれからしばらく続きますが、春も近づいてきて少しうれしくなる季節です。

ふくろうの郷では、2月2日に、恒例の豆をまき、昼食には入居者さんが巻き寿司をつくられました。具が多く巻ききれないものなど1人1人個性あふれる巻き寿司が出来上がりました。丸かぶりは出来ませんでした。1年間の健康を願いながら頂きました。

(相談主任 竹原哲章)



楽しそうに巻き寿司を巻く入居者さん

### 黄色い歓声につつまれた安乎小学校交流会



3月2日、毎年交流している安乎小学校4年生の児童10名の訪問がありました。一人ひとり手話で自己紹介をした後、入居者とゲームで交流をしました。今回の訪問に先立ち2月28日に安乎小に職員が訪問し、手話の勉強をしてもらったこともあり、自己紹介もスムーズにできました。ボーリングや魚釣りなどのゲームを入居者と一緒に楽しみ、何回も大歓声があがるなど、孫のような子供たちに囲まれ、元気をもらえた一日になりました。

また、入居者にさりげなくボールや風船を手渡してくれたり、盲ろう者の手をとって誘導してくれたり、自然と入居者が楽しめるように接してくれるなどの姿も見られました。交流会も今年で7回目になります。今後も小学校の児童との交流を通じて聴覚障害者への理解を深めてもらう機会にしたいと思います。

(相談主任 竹原哲章)

**淡路聴覚障害者  
センター便り**

洲本市港 2-26  
洲本市健康福祉館 3階

3月4日(日)南あわじ市  
緑市民センターにて第21回  
あわじ耳の日の集いが開催  
され、淡路島内各市市長、市  
議会議員、福祉課職員をはじめ  
島内外聴覚障害者、手話関  
係者、一般市民など、約15  
0名の参加がありました。  
式典に続き、明石市長  
より「手話を世の光に 手話  
言語条例がめざすまちづく  
り」というテーマで講演があ  
りました。

**手話への理解や障害者に  
やさしい町つくりを**

泉市長は同市の「手話言  
語・障害者コミュニケーション  
条例」の施行後2年10  
か月経過した施策推進の状  
況、手話への理解を広げる  
ために市内全小学校での手  
話教室の開催、市職員の手  
話検定受験の推奨、また「差  
別解消法」による合理的配  
慮として、筆談ボードやス

**障害者にやさしい町は誰もが暮らしやすい町 明石市が推進**

**第21回あわじ耳の日のつどいに約150名が参加**



▲「手話を世の光に」と題された明石市長の講演

ロープの設置への助成制度、  
障害児のみでなくその家族、  
兄弟への支援など誰もが暮ら  
しやすいまちの実現に向け、  
様々な取り組みを進めている  
ことがスライドを使って紹介  
されました。

**どきどきから、まぶ実践**

駅周辺の店では、点字のメ  
ニュー、スロープの設置など  
の環境整備が進んでおり、明  
石市は「住みやすい町」と転  
入してくる人が増え、一時減  
少していた人口がV字回復

していると強調されまし  
た。聴覚障害者からは店頭  
の筆談ボードにより筆談で  
定員さんと会話できるよう  
になり「帰宅するまでの時  
間によって保冷剤の数が違  
う」「麺の太さを選ぶことが  
できたのか」と聞こえる人  
たちとの情報格差があった  
ことに驚かれたとのこと。

**社会全体の  
「あたりまえ」を変える**

泉市長は、「できないこと  
に目を向けるのでなく、何  
ができるのか」「特別なこと  
でなくあたりまえのことを  
しているだけ」「社会を変え  
ていきましょう」との言葉  
が頻回にでてきます。

講演のあと、南あわじ市  
藤森福祉部長からは3月議  
会に上程予定の手話言語コ  
ミュニケーション条例の取  
り組み状況が、また、守本市  
長からは講演を聞き、南あ  
わじ市でもぜひ参考にした  
いと感想をいただき、条例  
制定後の南あわじ市の施策  
に期待が膨らみました。  
(楠本恵利子)

**手話サークルってどんなところ？**

いよいよ今年度の手話奉仕員養成  
講座も終了に近づき、受講生が各サ  
ークルとの交流に参加しました。最初  
は、初めて会う方々に緊張してい  
ましたが、積極的に1年間学んだ手  
話で、会話することができました。受  
講生からは「今後はサークルへと活  
動の場を移し、手話の勉強に励みたい」と感想がありました。(吉川稔)



▲サークル・ろう者と交流する受講生

「時短料理は参考になる」と感  
心しながら調理をする参加者



2月24日(土)第9回社会生  
活教室を開催しました。午前中  
は身近な食材を使つての栄養バ  
ランスを考えた食事作り。主食・  
副菜の量や、炊飯器を使つての  
時短料理の工夫に、参加者のみ  
なさんも、「薄味ながらもダシが  
きいていて美味しい」「炊飯器  
の時短料理は簡単で驚いた」と  
それぞれ感心しながら調理や食  
事を楽しまれました。  
午後は聞こえない方の戦争体  
験DVD鑑賞をし、参加され  
た岡本多恵子さんからは「私も  
同じような体験をしたんよ、戦  
争は嫌や」と感想を話されまし  
た。(高木恵理)

**バランスよく食べましょ**

**第9回社会生活教室**

# 淡路島中央スマートインター開通記念！

中川原高齢者・障がい者地域  
ふれあいセンター



☎656-0002  
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2  
TEL 0799-28-0990  
FAX 0799-28-0992



## 「第4回わくわくフリーマーケット in 中川原」

平成30年2月17日(土)、淡路島中央スマートインター開通のこの日を皆で盛り上げようと、連合町内会、洲本市、ふれあいセンター共催で「第4回わくわくフリーマーケット in 中川原」を開催しました。

開通式典会場でのアナウンスのおかげもあり、延べ千人と過去最高の来場をいただきました。

今回の目玉として地域の方々による「シシ汁」の振るまい、「鹿カレー」の販売がありました。200食の振る舞いは昼過ぎには空っぽ、鹿カレーも昼ごろにはお米が足りなくなるなどプチアクシデントもありましたが、概ねご好評をいただきました。じゃんけん大会、お子様向けのゲーム等家族で楽しんでいただきました。

「地域活性化の一助に」を目標に始めたこのフリーマーケット。来場者の笑顔を見ているとその目標にまた一歩近づけたんじゃないかな?と思えた一日でした。(濱田良介)

### 平成30年度障害福祉サービス等報酬改定について

◎就労継続支援における賃金・工賃向上の見直し  
就労継続支援B型は、障害者が地域で自立した生活を送ることができるように、利用者に支払う工賃の水準が向上するために必要な支援を行うことが重要であることから、事業所が障害者に支払う平均工賃月額に応じた基本報酬とする。



| 改定前   | 平均工賃月額       | 基本報酬  |
|-------|--------------|-------|
| 584単位 | 4.5万円以上      | 645単位 |
|       | 3万円以上4.5万円未満 | 621単位 |
|       | 2.5万円以上3万円未満 | 609単位 |
|       | 2万円以上2.5万円未満 | 597単位 |
|       | 1万円以上2万円未満   | 586単位 |
|       | 5千円以上1万円未満   | 571単位 |
|       | 5千円未満        | 562単位 |

おのころの家の平均工賃月額は13,500円で残念ながら基本報酬は586単位です。上位を目指した工夫に努めたいです。



▲シシ汁のふるまいが行なわれたブースには長い列ができ、みんなおいしそうに頬張っていました。



▲じゃんけん大会！1位は宝楽焼セットをもらえるぞ！



▲それぞれの立場から意見が交わされました

**提言案**

- 障害者計画・福祉計画の協議委員会に当事者を参画させる
- 手話言語条例のPRをもっとすすめる

**第4回神戸市における聴覚障害者福祉充実のための検討会**

2月3日(土)に今年度最後の検討会が開催されました。今回は、第1回〜3回までの議論の内容を確認し、提言の仮案について意見を出し合いました。

**神戸事業所** 安心して暮らせる福祉施設を!!

共同作業所 神戸ろうあハウス  
神戸ろうあハウス デザイナー・ビジネスセンター

〒652-0897 兵庫県神戸市兵庫区駅南通5-4 西高架下16号

TEL & FAX ... 〇七八五七九〇七五五

### 「障害者計画・福祉計画の協議委員会に当事者の参画を」

今年度の検討会で終わるのではなく、来年度も継続していきたいことを確認し、オブザーバーとして出席されてきた神戸市障害者支援課の課長にご協力をお願いし、閉会となりました。  
(野村 洋子)

○行政の中でも障害分野、教育分野とわかれていて、それぞれに要求していくことをもっと議論したい(親の立場)  
など、委員のそれぞれの立場から意見ができました。

○お願いではなく、法的根拠のもと入れるべきだと要求するべき(弁護士)

○手話通訳派遣の年齢的な制限はなくしてほしい(教師の立場)

**来年度も検討会の継続を**

○手話通訳者派遣内容の拡大

○きこえない人への対応・支援ができる施設・事業の目標値を設置する

○練習の場、交流の場を早急に確保して欲しい

● **1億円を目指して** 神戸市施設建設推進委員会 2018/2/27 現在  
**38,113,191円** が寄せられました。ありがとうございます。さらに頑張ります。

### 3月・4月 ふくろうの暮らし



- 3/17 (土) 地域交流会手話講座
- 3/18 (日) 香川県手話まつり参加
- 3/20 (火) 入居者懇談会  
ふくろう大学 29年度修了式
- 3/21 (水) ふくろう喫茶
- 3/23 (金) ふくろう大学料理講座
- 4/3 (火) 入居者と新入職員交流会
- 4/6 (金) ~4/9 (月) お花見の予定
- 4/9 (月) ふくろう理髪店  
おのころ屋パン販売
- 4/10 (火) ふくろう大学開講式  
ふくろう大学絵手紙講座  
おのころ屋パン販売
- 4/17 (火) ふくろう大学書道講座
- 4/20 (金) ちぎり絵

### ふくろうの郷見学・研修受付中

ふくろうの郷は「学びの場」です。皆様の見学、研修の場としてご利用いただけるようたくさん見学・講義のメニューをご用意しています。

**入居者による「自分を語る」**

- 精神病院から生還して
- 断種の苦しみを人形に託して
- 戦中・戦後を生き抜いて



「施設の見学・入居者との交流のみ、講義も希望など自由に組み合わせできます。是非、お気軽にお電話ください。申込書は法人のホームページからダウンロードできます。なお、見学は12月1日~2月28日までは原則お受けしておりません。